

も云り、

〔日本書紀神武〕己未年二月辛亥命諸將練士卒是時略○中又高尾張邑有土蜘蛛其爲人也身短而手足長與侏儒相類皇軍結葛網而掩襲殺之因改號其邑曰葛城

〔日本書紀武烈〕八年三月大進侏儒倡優爲爛熳之樂設奇偉之戲縱靡靡之聲

〔日本書紀天智〕十年三月甲寅常陸國貢中臣部若子長尺六寸其生年丙辰至此歲十六年也

〔日本書紀天武〕四年二月癸未勅大倭河內攝津山背播磨淡路丹波但馬近江若狹伊勢美濃尾張

等諸國曰選所部百姓之能歌男女及侏儒伎人而貢上十三年正月丙午天皇御于東庭群卿侍之時召能射人及侏儒左右舍人等射之

〔續日本紀文一武〕二年四月壬辰侏儒備前國人秦大兄賜姓香登臣

〔續日本後紀仁一明〕天長十年四月丙子是日勅喚大舍人穴太馬麻呂與內豎橘吉雄雙立量其身長吉雄甚短而其頭首不及馬麻呂腋下焉

〔文德實錄六〕齊衡元年十月庚申正五位下備前守藤原朝臣大津卒大津者贈左大臣從一位內麻呂第九之子也大津身長短小而意氣難奪尤善步射頗超等輩

〔大和物語下〕小やくしくそといひける人あるひとをよばひてをこせたりける

かくれぬのその下くさ水がくれてしられぬ戀はくるしかりけりかへし女

みがくれにかくるばかりのまた草はながらじともおもほゆるかなこのこやくしといひ

ける人はたけなん短かかりける

〔元亨釋書傳二〕釋榮西號明菴備之中州吉備津宮人略○中西少形短同學嘲曰子雖才辯身體早矮稠

人之中廣衆之時恐人不貴子也西應聲曰虞舜王赤縣晏嬰相齊國皆未聞長也同學羞澀西雖辯一時心實恥之便以所受求聞持法期一百日祈始入壇時於堂前柱刻身長過期倚柱長前四寸餘略○下